

令和6年度における地域包括支援センター等の評価結果等を踏まえた取組状況について

令和6年度の地域包括支援センター（以下「センター」という。）等の評価点が低かった項目やヒアリング等におけるセンターからの要望を踏まえて、次のような取組を行った。

1 区レベルの取組

(1) 各区において改善に向けて取り組む評価項目に関する改善策等の実施

令和7年9月から10月に開催した各区地域包括支援センター運営協議会において、区内の半数以上のセンターが「2点」（重点事業は「3点」）以下であった評価項目に対する、改善策等について検討した。別紙1のとおり、区地域支えあい課が定期的に指導を行うなど、改善に向けて取組を実施している。

(2) 地域包括支援センターの広報

各区地域支えあい課において、次の取組を実施した。

- ・ 本市広報紙（各区版）への掲載
- ・ 区内の防災イベントや地域の祭り等に参画し、センターの役割についてのパネル展示やチラシの配布



2 市レベルの取組

(1) 地域包括支援センターの広報

別紙2のとおり。

(2) センター職員研修会、センター長研修会の開催

センター職員に対しては、センター評価に係るヒアリング結果を踏まえ、個別支援で把握した課題から地域課題を見つける視点を習得することを目的とした研修会を実施した。

センター長に対しては、過去の研修会後のアンケート結果や、当課及び区地域支えあい課によるセンター長支援の過程で、センター長が管理職としての重い職責に加え、業務上の不安やストレスを抱え、負担を感じている状況が確認された。このため、ストレスマネジメント手法および管理職のセルフケア手法の習得を目的とした研修会を実施した。

区分	日時	開催方法	テーマ	参加者数
センター職員研修会	12月8日(月) 14:00～17:00	オンライン	個別ケース課題から地域課題を見つける視点について (講師：社会福祉法人萌生会 黒木 勇治 氏)	120名
センター長研修会	10月14日(火) 14:00～17:00	対面	① 働く人のメンタルヘルス ～ハートフルに働く～ ② ストレスフリーde ハートフル ～自分に優しく、人にやさしく～ (講師：日本老年精神医学会認定専門心理士 介護老人保健施設ひばり 古森 正和 氏)	67名

(3) 地域包括支援センター活動発表会の開催

センター等における先駆的な活動状況等を発表し、共有するとともに、学識経験者からの助言を受けることで、業務の質向上や活動の活性化を図ることを目的として活動発表会を開催した。また、センター等の活動を広く共有する観点から、地域包括支援センター運営協議会委員やセンター等と連携して地域住民の支援を行う相談員等に傍聴の案内を行った。

日時	開催方法	発表者等	参加者・傍聴者数※
1月23日(金) 14:30~16:30	オンライン	・ 地域包括支援センター 4センター ・ 認知症地域支援推進員 1名 (アドバイザー：広島文教大学 人間科学部 人間福祉学科 准教授 太原 牧絵 氏)	【参加者】210名 【傍聴者】48名 (申込者数)

- ※ 参加者 ・ センター職員、認知症地域支援推進員、各区地域支えあい課職員
傍聴者 ・ 広島市地域包括支援センター運営協議会委員
・ 各区地域包括支援センター運営協議会委員
・ 生活支援コーディネーター（区社会福祉協議会）、在宅介護指導員、相談支援包括化推進員、障害者基幹相談支援センター職員等、センター等と連携して地域住民の支援を行う相談員
・ 発表内容に関わる地域団体等の関係者